

中間貯蔵施設用地の状況

概要

- 中間貯蔵施設区域は約1,600haであり、予定地内の登記記録人数は2,360人となっています。
- 地権者との信頼関係はもとより、中間貯蔵施設事業への理解が何よりも重要であると考えており、引き続き、地権者への丁寧な説明を尽くしながら取り組みます。

中間貯蔵施設用地の状況について

2022年10月末時点

- 用地取得については、10月末時点で契約者数1,845人、面積約1,278haについて契約しております。

中間貯蔵施設用地の状況について

2022(令和4)年10月末時点

全体面積 約1,600ha	項目	全体面積に対する 面積と割合	全体登記記録人数 (2,360人※1)に対する 人数と割合
	地権者連絡先把握済み	約1,590ha※1 99.4%	約2,100人※1 89.0%
民有地 約1,270ha (約79%)	民有地 約1,183ha(±0.0ha) 93.2%※3	計 約1,278ha (±0.0ha) 79.9%	計 1,845人 (±0人) 78.2%※2
公有地 約330ha (約21%)	公有地 約94ha(±0.0ha) 28.6%※4	その他の公有地 約236ha 14.7%	〔連絡先把握済みの2,100人に対する割合は、87.9%〕
		<参考> 約1,513ha (94.6%)	

次を含む。

①道路・水路等のように今後も元々の機能を維持する町有地、県有地、国有地等

②事業の進展を踏まえつつ、必要に応じて、中間貯蔵施設用地としての提供・契約を調整する町有地、県有地、国有地等

※1 国、地方公共団体を含む。

※2 民有地1,843人、公有地2人。

※3 民有地(約1,270ha)に対する割合。

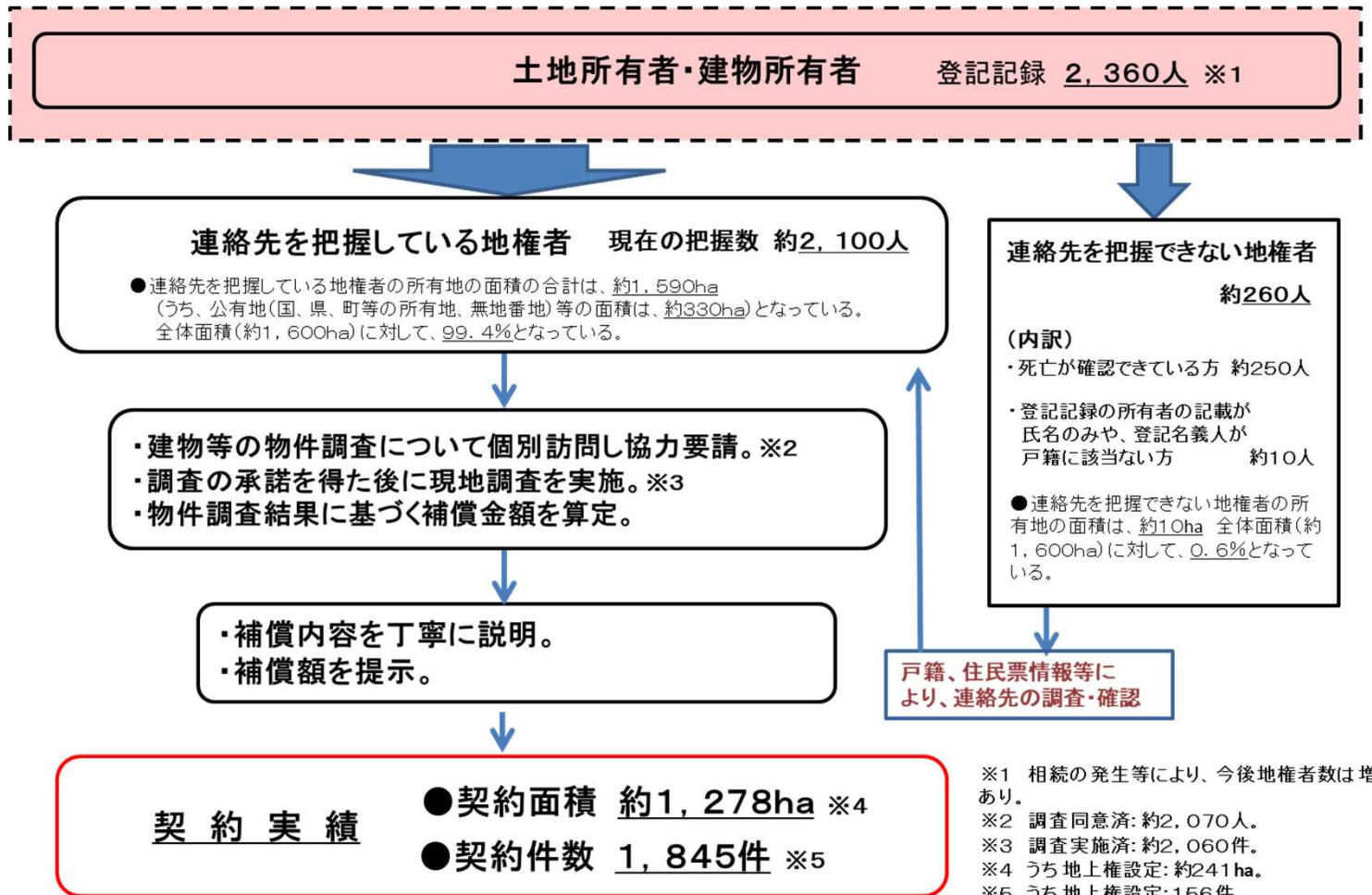
※4 公有地(約330ha)に対する割合。

(注) 端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。また、契約済におけるカッコ内の数字は、前月末からの増加分を表す。

<参考>

地権者の状況について

2022年10月末時点



- ※1 相続の発生等により、今後地権者数は増減あり。
※2 調査同意済: 約2,070人。
※3 調査実施済: 約2,060件。
※4 うち地上権設定: 約241ha。
※5 うち地上権設定: 156件。

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。